

注3

大学番号：国009

[平成29年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

岩手大学大学院 総合科学研究科 農学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人岩手大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 経営企画本部 戦略企画室

職名・氏名 センリヤクキカク 戦略企画グループ主査 シュウサ 星 ホシ タツヒコ ツツヒコ 達彦

電話番号 019-621-6032

(夜間) 019-621-6032

FAX 019-621-6014

e-mail senryaku@iwate-u.ac.jp

(注)1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に ()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 大学 学部 学科

(学部(平成 年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「 大学 学部」

・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

総合科学研究科

	ページ
< 農学専攻 >	
1 . 調査対象大学等の概要等	1
2 . 授業科目の概要	5
3 . 施設・設備の整備状況、経費	10
4 . A C 対象学部等を含む大学等の状況	11
5 . 教員組織の状況	13
6 . 留意事項等に対する履行状況等	26
7 . その他全般的事項	27
< 別添資料 >	
資料 1 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則	30
資料 2 岩手大学農学部教務委員会規則	32
資料 3 岩手大学農学部点検評価委員会規則	34
資料 4 岩手大学大学院総合科学研究科教務専門委員会規則	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岩手大学

(2) 大学名

岩手大学大学院

(3) 大学の位置

〒020-8550
岩手県盛岡市上田3-18-8

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	イワブチ アキラ 岩淵 明 (平成27年3月)		
研究科長	ヤシロ ヒトシ 八代 仁 (平成29年4月)		
専攻長	タカハタ ヨシヒト 高畑 義人 (平成29年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成29年度に報告済の内容 (29)

平成30年度に報告する内容 (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・様式は，平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
総合科学研究科 農学専攻 修士(農学)	農学関係	2年	50人	100人	基礎となる学部等 農学部(植物生命科学科、応用生物化学科、動物科学科)

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は，「備考」にその旨記載してください。
 ・「学位又は学科の分野」には，「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50 (-) [-]	-	50 (-) [-]	-	50 (-) [-]	-	0.95 倍	
志願者数	60 (-) [-]	-	49 (1) [1]	-	-	-		
受験者数	59 (-) [-]	-	45 (-) [-]	-	-	-		
合格者数	57 (-) [-]	-	45 (-) [-]	-	-	-		
B 入学者数	54 (-) [-]	-	41 (-) [-]	-	-	-		
入学定員超過率 B / A	1.08		0.82					

- (注)・数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・()内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については，認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・[]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により，我が国の大学(大学院を含む。)，短期大学，高等専門学校，専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・転入学生は記入しないでください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「-」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	54 [-] (-)	- [-] (-)	41 [-] (-)	- [-] (-)	
2 年次			52 [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次					
計	54 [-] (-)		93 [-] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成 3 0 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「 - 」を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	54 人	2 人	平成29年度	2 人	0 人	就職 1名、除籍 1名
平成30年度	93 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合 計	147 人	2 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数 (a)}}{\text{平成29年度の在学者数 (b)}} = \frac{2}{54} = \boxed{3.70} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数 (a)}}{\text{平成30年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{93} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数 (a)}}{\text{平成31年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数 (a)}}{\text{平成32年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<総合科学研究科 農学専攻>

(1) - 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称		配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合科学科目 研究科共通科目	震災復興・地域 創生	地域創生特論	1前・後	1								11	
		地域防災特論	1後		1							8	
		地域文化特論	1後		1							10	
	イノベーション	物質機能創成特論	1前		1							8	
		システム創成特論	1後		1							8	
		先端生命科学特論	1後		1		2	4				2	
	グローバル	多文化共生特論	1後		1							10	
		グローバルエネルギー特論	1前		1							8	
		グローバル環境科学特論	1後		1		1	2				9	
	技法知科目	アカデミック英語 (A2-LSRW)	1・2前・後		1								5
		アカデミック英語 (B1-LS)	1・2前・後		1								5
		アカデミック英語 (B1-RW)	1・2前・後		1								5
		アカデミック英語 (B2-LS)	1・2前・後		1								5
アカデミック英語 (B2-RW)		1・2前・後		1								5	
アカデミック日本語		1・2前・後		1								1	
研究者倫理特論		1前		1			1					6	
学修支援論		1前			1							1	
学修支援演習	1前・後		1	1							1		
専攻共通科目	研究デザイン演習	1前		1		1							
	研究プレゼンテーション演習	2後		1		1							
	インターンシップ	1・2前・後		1		1							
	次世代農学特論	1前	1			6	1					1	
コース専門科目 (植物生命科学コース)	作物生産生理学特論	1・2前		2		1							
	植物育種学特論	1・2前		2		1							
	植物病理学特論	1・2前		2		1							
	植物環境ストレス応答機構学特論	1・2前		2		1							
	果樹園芸学特論	1・2後		2		1							
	花卉園芸学特論	1・2前		2		1							
	蔬菜園芸学特論	1・2後		2		1							
	低温植物生理学特論	1・2前		2		1							
	植物分子生物学特論	1・2前		2		1							
	植物分子遺伝学特論	1・2後		2		1							
	昆虫生理学特論	1・2前		2				1					
	応用昆虫学特論	1・2後		2		1							
	植物ウイルス病学特論	1・2後		2		1							
	作物栽培学特論	1・2後		2		1							
	寒冷地果樹特論	1・2後		2					1				
	蔬菜生産学特論	1・2後		2		1							
	遺伝子農学特論	1・2前		2								1	
	農業技術学特論	1・2後		2								1	
	植物バイオテクノロジー特論	1・2後		2								1	
	植物生命科学特別講義	1・2前		1								1	
植物生命科学特別研究	1-2通年	10				6	8	1	1				
コース専門科目 (応用生物化学コース)	栄養生化学特論	1・2前		2		1							
	ケミカルバイオロジー特論	1・2前		2		1							
	分子栄養学特論	1・2後		2		1		1					
	応用微生物学特論	1・2後		2		1							
	生化学特論	1・2後		2		1							
	分子生体機能学特論	1・2後		2		1							
	植物栄養生理学特論	1・2前		2		1							
	環境土壌学特論	1・2前		2		1							
	細胞構造形成学特論	1・2前		2		1							
	染色体・ゲノム生物学特論	1・2前		2		1		1					
	生体機能システム学特論	1・2後		2		1							
	食品物理化学工学特論	1・2後		2		1							
	食品科学特論	1・2前		2		1							
	調理加工学特論	1・2前		2								1	
	産業微生物学特論	1・2前		2		1							
	応用生物化学特別講義	1・2前		1								1	
応用生物化学特別研究	1-2通年	10				7	7						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称		配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合科学科目 研究科共通科目	震災復興・地域 創生	地域創生特論	1前・後	1								11	
		地域防災特論	1後		1							8	
		地域文化特論	1後		1							10	
	イノベーション	物質機能創成特論	1前		1							8	
		システム創成特論	1後		1							8	
		先端生命科学特論	1後		1		2	4				2	
	グローバル	多文化共生特論	1後		1							10	
		グローバルエネルギー特論	1前		1							8	
		グローバル環境科学特論	1後		1		1	2				9	
	技法知科目	アカデミック英語 (A2-LSRW)	1・2前・後		1								4
		アカデミック英語 (B1-LS)	1・2前・後		1								4
		アカデミック英語 (B1-RW)	1・2前・後		1								4
		アカデミック英語 (B2-LS)	1・2前・後		1								4
アカデミック英語 (B2-RW)		1・2前・後		1								4	
アカデミック日本語		1・2前・後		1								1	
研究者倫理特論		1前		1			1					6	
学修支援論		1前			1							1	
学修支援演習	1前・後		1	1							1		
専攻共通科目	研究デザイン演習	1前		1			2	1					
	研究プレゼンテーション演習	2後		1			2	1					
	インターンシップ	1・2前・後		1			3						
	次世代農学特論	1前	1			6	1					1	
コース専門科目 (植物生命科学コース)	作物生産生理学特論	1・2前		2		1							
	植物育種学特論	1・2前		2		1							
	植物病理学特論	1・2前		2		1							
	植物環境ストレス応答機構学特論	1・2前		2		1							
	果樹園芸学特論	1・2後		2		1							
	花卉園芸学特論	1・2前		2		1							
	蔬菜園芸学特論	1・2後		2		1							
	低温植物生理学特論	1・2前		2		1							
	植物分子生物学特論	1・2前		2		1							
	植物分子遺伝学特論	1・2後		2		1							
	昆虫生理学特論	1・2前		2				1					
	応用昆虫学特論	1・2後		2		1							
	植物ウイルス病学特論	1・2後		2		1							
	作物栽培学特論	1・2後		2		1							
	寒冷地果樹特論	1・2後		2							1		
	蔬菜生産学特論	1・2後		2		1							
	遺伝子農学特論	1・2前		2								1	
	農業技術学特論	1・2後		2								1	
	植物バイオテクノロジー特論	1・2後		2								1	
	植物生命科学特別講義	1・2前		1								1	
植物生命科学特別研究	1-2通年	10					7	7	1	3			
コース専門科目 (応用生物化学コース)	栄養生化学特論	1・2前		2		1							
	ケミカルバイオロジー特論	1・2前		2		1							
	分子栄養学特論	1・2後		2		1		1					
	応用微生物学特論	1・2後		2		1							
	生化学特論	1・2後		2		1							
	分子生体機能学特論	1・2後		2		1							
	植物栄養生理学特論	1・2前		2		1							
	環境土壌学特論	1・2前		2		1							
	細胞構造形成学特論	1・2前		2		1							
	染色体・ゲノム生物学特論	1・2前		2		1		1					
	生体機能システム学特論	1・2後		2		1							
	食品物理化学工学特論	1・2後		2		1							
	食品科学特論	1・2前		2		1							
	調理加工学特論	1・2前		2								1	
	産業微生物学特論	1・2前		2		1							
	応用生物化学特別講義	1・2前		1								1	
応用生物化学特別研究	1-2通年	10							8	6			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース専門科目（動物科学コース）	動物栄養生化学特論	1・2前		2		1						1
	動物代謝学特論	1・2後		2		1						
	動物生殖学特論	1・2後		2								
	動物遺伝育種学特論	1・2前		2			1					
	動物資源利用学特論	1・2前		2			1					
	動物生理学特論	1・2前		2			1					
	動物管理学特論	1・2後		2			1					
	動物栄養生理学特論	1・2前		2			1					
	動物生殖工学特論	1・2前		2		1						
	草地学特論	1・2後		2		1						
動物科学特別講義	1・2前		1							1		
動物科学特別研究	1～2通年	10			4	5		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース専門科目（動物科学コース）	動物栄養生化学特論	1・2前		2		1						1
	動物代謝学特論	1・2後		2		1						
	動物生殖学特論	1・2後		2								
	動物遺伝育種学特論	1・2前		2			1					
	動物資源利用学特論	1・2前		2			1					
	動物生理学特論	1・2前		2			1					
	動物管理学特論	1・2後		2			1					
	動物栄養生理学特論	1・2前		2			1					
	動物生殖工学特論	1・2前		2		1						
	草地学特論	1・2後		2		1						
動物科学特別講義	1・2前		1							1		
動物科学特別研究	1～2通年	10				5	5		1			

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	総合科学科目 震災復興・地域創生	地域創生特論	1前・後	1								11
		地域防災特論	1後		1							8
		地域文化特論	1後		1							10
	イノベーション	物質機能創成特論	1前		1							8
		システム創成特論	1後		1							8
		先端生命科学特論	1後		1		2	4				2
	グローバル	多文化共生特論	1後		1							10
		グローバルエネルギー特論	1前		1							8
		グローバル環境科学特論	1後		1		1	2				9
	技法知科目	アカデミック英語 (A2-LSRW)	1・2前・後		1							
アカデミック英語 (B1-LS)		1・2前・後		1								5
アカデミック英語 (B1-RW)		1・2前・後		1								5
アカデミック英語 (B2-LS)		1・2前・後		1								5
アカデミック英語 (B2-RW)		1・2前・後		1								5
アカデミック日本語		1・2前・後		1								1
研究者倫理特論		1前		1			1					6
学修支援論		1前			1							1
学修支援演習	1前・後			1							1	
専攻共通科目	研究デザイン演習	1前		1		2	1					
	研究プレゼンテーション演習	2後		1		2	1					
	インターンシップ	1・2前・後		1		3						
	次世代農学特論	1前	1			6	1					1
コース専門科目 (植物生命科学コース)	作物生産生理学特論	1・2前		2		1						
	植物育種学特論	1・2前		2		1						
	植物病理学特論	1・2前		2		1						
	植物環境ストレス応答機構学特論	1・2前		2		1						
	果樹園芸学特論	1・2後		2		1						
	花卉園芸学特論	1・2前		2			1					
	蔬菜園芸学特論	1・2後		2			1					
	低温植物生理学特論	1・2前		2			1					
	植物分子生物学特論	1・2前		2			1					
	植物分子遺伝学特論	1・2後		2			1					
	昆虫生理学特論	1・2前		2				1				
	応用昆虫学特論	1・2後		2		1						
	植物ウイルス病学特論	1・2後		2			1					
	作物栽培学特論	1・2後		2			1					
	寒冷地果樹特論	1・2後		2					1			
	蔬菜生産学特論	1・2後		2			1					
	遺伝子農学特論	1・2前		2								1
農業技術学特論	1・2後		2			1						
植物バイオテクノロジー特論	1・2後		2								1	
植物生命科学特別講義	1・2前		1								1	
植物生命科学特別研究	1～2通年	10				7	7	1	2			
コース専門科目 (応用生物化学コース)	栄養生化学特論	1・2前		2		1						
	ケミカルバイオロジー特論	1・2前		2		1						
	分子栄養学特論	1・2後		2			1					
	応用微生物学特論	1・2後		2		1						
	生化学特論	1・2後		2		1						
	分子生体機能学特論	1・2後		2			1					
	植物栄養生理学特論	1・2前		2			1					
	環境土壌学特論	1・2前		2			1					
	細胞構造形成学特論	1・2前		2		1						
	染色体・ゲノム生物学特論	1・2前		2			1					
	生体機能システム学特論	1・2後		2		1						
	食品物理化学工学特論	1・2後		2		1						
	食品科学特論	1・2前		2			1					
	調理加工学特論	1・2前		2								1
産業微生物学特論	1・2前		2			1						
応用生物化学特別講義	1・2前		1								1	
応用生物化学特別研究	1～2通年	10				7	7					
コース専門科目 (動物科学コース)	動物栄養生化学特論	1・2前		2		1						
	動物代謝学特論	1・2後		2		1						
	動物生殖学特論	1・2後		2								1
	動物遺伝育種学特論	1・2前		2			1					
	動物資源利用学特論	1・2前		2			1					
	動物生理学特論	1・2前		2			1					
	動物管理学特論	1・2後		2			1					
	動物栄養生理学特論	1・2前		2			1					
	動物生殖工学特論	1・2前		2		1						
	草地学特論	1・2後		2		1						
	動物科学特別講義	1・2前		1								1
動物科学特別研究	1～2通年	10				5	5		1			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についてもも記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) - 授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育効果を上げるため、「研究デザイン演習」の担当教員を追加し、「教授1」から「教授2」、「准教授1」に変更。
- ・教育効果を上げるため、「研究プレゼンテーション演習」の担当教員を追加し、「教授1」から「教授2」、「准教授1」に変更。
- ・教育効果を上げるため、「インターンシップ」の担当教員を追加し、「教授1」から「教授3」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「農業技術学特論」の担当教員として専任教員を配置し、「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の転出に伴い、「植物生命科学特別研究」の専任教員の配置を、「准教授1減」し「准教授7」に変更。
- ・担当教員の採用に伴い、「植物生命科学特別研究」の専任教員の配置を、「教授、助教、各1増」し「教授7」、「助教2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「動物科学特別研究」の担当教員に「教授1」を追加し、「教授5」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員の転出に伴い、「アカデミック英語」の兼任教員の配置を1減し「兼4」に変更。
- ・担当教員の採用に伴い、「植物生命科学特別研究」の専任教員の配置を、「助教1」を追加し、「助教3」に変更。
- ・担当教員の昇任に伴い、「食品科学特論」及び「応用生物化学特別研究」の専任教員の配置を「准教授」1減し「教授」1増に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	65 科目	2 科目	72 科目	5 科目 [0]	65 科目 [0]	2 科目 [0]	72 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： -1)

(3) 未開講科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{72} = \boxed{}\%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備考						
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計							
	校舎敷地	280,802 m ²	0 m ²	0 m ²	280,802 m ²							
	運動場用地	61,037 m ²	0 m ²	0 m ²	61,037 m ²							
	小 計	341,839 m ²	0 m ²	0 m ²	341,839 m ²							
	そ の 他	74,213 m ²	0 m ²	0 m ²	74,213 m ²							
	合 計	416,052 m ²	0 m ²	0 m ²	416,052 m ²							
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	次世代技術実証技術 研究ラボ建設のため (30)						
		142,389 m ² 141,583 m ² (142,389 m ²) (-141,583 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	142,389 m ² 141,583 m ² (142,389 m ²) (-141,583 m ²)							
(3) 教 室 等	講 義 室	96 室	演 習 室 51 室	実験実習室 362 室	情報処理学習施設 12 室 (補助職員 0人)	語学学習施設 3 室 (補助職員 0人)	大学全体					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数								
	総合科学研究科農学専攻			40 室								
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 (うち外国書)	学術雑誌 (うち外国書)		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能な ため、大学全体での数				
		冊	種	電子ジャーナル (うち外国書)								
		総合科学研究科 農学専攻	905,397 [198,852] 909,997 [199,025] 902,912 [198,398] (891,679 [197,574]) (887,312 [196,998])	11,477 [2,178] 11,525 [2,204] 11,579 [2,204] (11,405 [2,174]) (11,419 [2,204])					5,755 [5,751] 6,340 [5,767] 6,232 [5,660] (5,755 [5,751]) (6,202 [5,690])	4,556 4,743 3,850 (4,254) (-3,750)	84 87 89 (84) (-87)	0 0 0 (0)
		計	905,397 [198,852] 909,997 [199,025] 902,912 [198,398] (891,679 [197,574]) (887,312 [196,998])	11,477 [2,178] 11,525 [2,204] 11,579 [2,204] (11,405 [2,174]) (11,419 [2,204])					5,755 [5,751] 6,340 [5,767] 6,232 [5,660] (5,755 [5,751]) (6,202 [5,690])	4,556 4,743 3,850 (4,254) (-3,750)	84 87 89 (84) (-87)	0 0 0 (0)
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体					
	9,089 m ²		664 679		680,989 678,172			図書スペースの利用方法 の見直しのため(30)				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体				
	6,357 m ²		野球場	陸上競技場	テニスコート	武道場ほか						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)による			
		教員1人当り研究費等	- 千円	- 千円	図書購入費	- 千円	- 千円	- 千円				
	共同研究費等	- 千円	- 千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円					
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次					
		- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円					
	学生納付金以外の維持方法の概要		-									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	岩手大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員定員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部			3年次					岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
人間文化課程	4	125	6	381	学士(総合科学)	1.03	平成28年度	同上	
地域政策課程	4	75	4	229	学士(総合科学)	1.06	平成28年度	同上	
人間科学課程	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
国際文化課程	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
法学経済課程	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
環境科学課程	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
教育学部								岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士(教育)	1.07	平成12年度	同上	
生涯教育課程	4	-	-	-	学士(生涯教育)	-	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
芸術文化課程	4	-	-	-	学士(芸術文化)	-	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
理工学部			3年次					岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
化学・生命理工学科	4	90	2	272	学士(理工学)	1.04	平成28年度	同上	
物理・材料理工学科	4	80	2	242	学士(理工学)	1.04	平成28年度	同上	
システム創成工学科	4	270	16	826	学士(工学)	1.02	平成28年度	同上	
工学部								岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	平成28年より学生募集停止
応用化学・生命工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
社会環境工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
農学部			3年次					岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
植物生命科学科	4	40	1	121	学士(農学)	1.06	平成28年度	同上	
応用生物化学科	4	40	1	121	学士(農学)	1.03	平成28年度	同上	
森林科学科	4	30	-	90	学士(農学)	1.04	平成28年度	同上	
食料生産環境学科	4	60	2	182	学士(農学)	1.04	平成28年度	同上	
動物科学科	4	30	1	91	学士(農学)	1.02	平成28年度	同上	
農学生命課程	4	-	-	-	学士(農学)	-	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
応用生物化学課程	4	-	-	-	学士(農学)	-	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共生環境課程	4	-	-	-	学士(農学)	-	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
動物科学課程	4	-	-	-	学士(農学)	-	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共同獣医学科	6	30	-	180	学士(獣医学)	1.09	平成24年度	同上	
獣医学課程	6	-	-	-	学士(獣医学)	-	平成19年度	同上	平成24年より学生募集停止
総合科学研究科(修士課程)									
地域創生専攻	2	54	-	108	修士(農学) 修士(水産学) 修士(工学) 修士(スポーツ健康科学) 修士(学術)	1.05	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
総合文化学専攻	2	10	-	20	修士(学術)	0.85	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
理工学専攻	2	180	-	360	修士(理工学) 修士(工学) 修士(芸術工学)	0.92	平成29年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
農学専攻	2	50	-	100	修士(農学)	0.95	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	

人文社会科学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	平成29年より学生募集停止
人間科学専攻	2	-	-	-	修士（学術）	-	平成16年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
国際文化学専攻	2	-	-	-	修士（学術）	-	平成16年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
社会・環境システム学専攻	2	-	-	-	修士（学術）	-	平成16年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
教育学研究科（専門職学位課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
教職実践専攻	2	16	-	32	教職修士（専門職）	1.12	平成28年度	-	同上	
教育学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	平成28年より学生募集停止
学校教育実践専攻	2	-	-	-	修士（教育学）	-	平成21年度	-	同上	平成28年より学生募集停止
教科教育専攻	2	-	-	-	修士（教育学）	-	平成7年度	-	同上	平成28年より学生募集停止
工学研究科（博士前期課程）									岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
応用化学・生命工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
フロンティア材料機能工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
デザイン・メディア工学専攻	2	-	-	-	修士（工学又は芸術工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
金型・鋳造工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成18年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
農学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
農学生命専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
応用生物化学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
共生環境専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
動物科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
バイオフロンティア専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
工学研究科（博士課程）									岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
フロンティア物質機能工学専攻	3	9	-	27	博士（工学）	0.29	平成21年度	-	同上	
電気電子・情報システム工学専攻	3	4	-	12	博士（工学）	1.00	平成21年度	-	同上	
機械・社会環境システム工学専攻	3	4	-	12	博士（工学）	1.58	平成21年度	-	同上	
デザイン・メディア工学専攻	3	3	-	9	博士（工学又は芸術工学）	1.77	平成21年度	-	同上	
獣医学研究科（博士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
共同獣医学専攻	4	5	-	5	博士（獣医学）	2.00	平成30年度	-	同上	
連合農学研究科（博士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
生物生産科学専攻	3	9	-	9	博士（農学又は学術）	0.77	平成30年度	-	同上	平成30年より学生募集停止
生物資源科学専攻	3	8	-	8	博士（農学又は学術）	0.62	平成30年度	-	同上	平成30年より学生募集停止
地域環境創生学専攻	3	7	-	7	博士（農学又は学術）	1.28	平成30年度	-	同上	平成30年より学生募集停止
生物生産科学専攻	3	-	-	-	博士（農学又は学術）	-	平成2年度	-	同上	平成30年より学生募集停止
生物資源科学専攻	3	-	-	-	博士（農学又は学術）	-	平成2年度	-	同上	平成30年より学生募集停止
寒冷圏生命システム学専攻	3	-	-	-	博士（農学又は学術）	-	平成18年度	-	同上	平成30年より学生募集停止
生物環境科学専攻	3	-	-	-	博士（農学又は学術）	-	平成2年度	-	同上	平成30年より学生募集停止

- （注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- 学部・学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合科学研究科 農学専攻(修士課程)>

(1) - 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	上村 松生 (60) <平成29年4月> 植物環境ストレス応答機構学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	黒田 榮喜 (63) <平成29年4月> 次世代農学特論 作物生産生理学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	小森 真男 (56) <平成29年4月> 次世代農学特論 果樹園芸学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	佐原 健 (50) <平成29年4月> 応用昆虫学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	高畑 義人 (63) <平成29年4月> 植物育種学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	吉川 信幸 (61) <平成29年4月> 次世代農学特論 植物病理学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	伊藤 菊一 (53) <平成29年4月> 先端生命科学特論 生体機能システム学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	木村 賢一 (58) <平成29年4月> 先端生命科学特論 ケミカルバイオロジー特論 応用生物化学特別研究
専	教授	下飯 仁 (63) <平成29年4月> 応用微生物学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	長澤 孝志 (62) <平成29年4月> 次世代農学特論 栄養生化学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	西山 賢一 (51) <平成29年4月> 細胞構造形成学特論 応用生物化学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	上村 松生 (60) <平成29年4月> 植物環境ストレス応答機構学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	黒田 榮喜 (63) <平成29年4月> 次世代農学特論 作物生産生理学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	小森 真男 (56) <平成29年4月> 研究デザイン演習 研究プレゼンテーション演習 次世代農学特論 果樹園芸学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	佐原 健 (50) <平成29年4月> 応用昆虫学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	高畑 義人 (63) <平成29年4月> 植物育種学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	吉川 信幸 (61) <平成29年4月> 次世代農学特論 植物病理学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	伊藤 菊一 (53) <平成29年4月> 先端生命科学特論 研究デザイン演習 研究プレゼンテーション演習 生体機能システム学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	木村 賢一 (58) <平成29年4月> 先端生命科学特論 インターンシップ ケミカルバイオロジー特論 応用生物化学特別研究
専	教授	下飯 仁 (63) <平成29年4月> 応用微生物学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	長澤 孝志 (62) <平成29年4月> 次世代農学特論 栄養生化学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	西山 賢一 (51) <平成29年4月> 細胞構造形成学特論 応用生物化学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	上村 松生 (61) <平成29年4月> 植物環境ストレス応答機構学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	黒田 榮喜 (64) <平成29年4月> 次世代農学特論 作物生産生理学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	小森 真男 (57) <平成29年4月> 研究デザイン演習 研究プレゼンテーション演習 次世代農学特論 果樹園芸学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	佐原 健 (51) <平成29年4月> 応用昆虫学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	高畑 義人 (64) <平成29年4月> 植物育種学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	吉川 信幸 (62) <平成29年4月> 次世代農学特論 植物病理学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	伊藤 菊一 (54) <平成29年4月> 先端生命科学特論 研究デザイン演習 研究プレゼンテーション演習 生体機能システム学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	木村 賢一 (59) <平成29年4月> 先端生命科学特論 インターンシップ ケミカルバイオロジー特論 応用生物化学特別研究
専	教授	下飯 仁 (64) <平成29年4月> 応用微生物学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	長澤 孝志 (63) <平成29年4月> 次世代農学特論 栄養生化学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	西山 賢一 (52) <平成29年4月> 細胞構造形成学特論 応用生物化学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	三浦 靖 (58) <平成29年4月> 食品物理化学工学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	山下 哲郎 (55) <平成29年4月> 生化学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	喜多 一美 (54) <平成29年4月> 次世代農学特論 動物栄養生化学特論 動物科学特別研究
専	教授	佐野 宏明 (61) <平成29年4月> グローバル環境科学特論 研究デザイン演習 研究プレゼンテーション演習 インターンシップ 動物代謝学特論 動物科学特別研究
専	教授	澤井 健 (47) <平成29年4月> 次世代農学特論 動物生殖工学特論 動物科学特別研究
専	教授	築城 幹典 (58) <平成29年4月> 草地学特論 動物科学特別研究
専	教授	橋爪 力 (64) <平成29年4月> 動物生殖学特論
兼任	講師	橋爪 力 (65) <平成30年4月> 動物生殖学特論
専	准教授	磯貝 雅道 (48) <平成29年4月> 植物ウイルス病学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	加藤 一幾 (40) <平成29年4月> 蔬菜園芸学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	金澤 俊成 (53) <平成29年4月> 蔬菜生産学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	河村 幸男 (46) <平成29年4月> 低温植物生理学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	下野 裕之 (43) <平成29年4月> グローバル環境科学特論 作物栽培学特論 植物生命科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	三浦 靖 (58) <平成29年4月> 食品物理化学工学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	山下 哲郎 (55) <平成29年4月> 生化学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	喜多 一美 (54) <平成29年4月> 次世代農学特論 動物栄養生化学特論 動物科学特別研究
専	教授	佐野 宏明 (61) <平成29年4月> グローバル環境科学特論 インターンシップ 動物代謝学特論 動物科学特別研究
専	教授	澤井 健 (47) <平成29年4月> 次世代農学特論 動物生殖工学特論 動物科学特別研究
専	教授	築城 幹典 (58) <平成29年4月> 草地学特論 動物科学特別研究
専	教授	橋爪 力 (64) <平成29年4月> 動物生殖学特論
専	准教授	磯貝 雅道 (48) <平成29年4月> 植物ウイルス病学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	金澤 俊成 (53) <平成29年4月> 蔬菜生産学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	河村 幸男 (46) <平成29年4月> 低温植物生理学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	下野 裕之 (43) <平成29年4月> グローバル環境科学特論 作物栽培学特論 植物生命科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	三浦 靖 (59) <平成29年4月> 食品物理化学工学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	山下 哲郎 (56) <平成29年4月> 生化学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	喜多 一美 (55) <平成29年4月> 次世代農学特論 動物栄養生化学特論 動物科学特別研究
専	教授	佐野 宏明 (62) <平成29年4月> グローバル環境科学特論 インターンシップ 動物代謝学特論 動物科学特別研究
専	教授	澤井 健 (48) <平成29年4月> 次世代農学特論 動物生殖工学特論 動物科学特別研究
専	教授	築城 幹典 (59) <平成29年4月> 草地学特論 動物科学特別研究
兼任	講師	橋爪 力 (65) <平成30年4月> 動物生殖学特論
専	准教授	磯貝 雅道 (49) <平成29年4月> 植物ウイルス病学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	金澤 俊成 (54) <平成29年4月> 蔬菜生産学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	河村 幸男 (47) <平成29年4月> 低温植物生理学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	下野 裕之 (44) <平成29年4月> グローバル環境科学特論 作物栽培学特論 植物生命科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	立澤 文見 (49) <平成29年4月> 先端生命科学特論 花卉園芸学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	畠山 勝徳 (47) <平成29年4月> 研究者倫理特論 植物分子遺伝学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	ラマン アビドゥール (46) <平成29年4月> 植物分子生物学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	伊藤 芳明 (49) <平成29年4月> 先端生命科学特論 分子栄養学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	斎藤 靖史 (53) <平成29年4月> 染色体・ゲノム生物学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	鈴木 雄二 (43) <平成29年4月> 植物栄養生理学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	立石 貴浩 (55) <平成29年4月> 次世代農学特論 環境土壌学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	塚本 知玄 (60) <平成29年4月> 食品科学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	宮崎 雅雄 (42) <平成29年4月> 先端生命科学特論 分子生体機能学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	山田 美和 (35) <平成29年4月> 先端生命科学特論 産業微生物学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	小田 伸一 (59) <平成29年4月> 動物栄養生理学特論 動物科学特別研究
専	准教授	西向 めぐみ (45) <平成29年4月> 動物生理学特論 動物科学特別研究
専	准教授	出口 薫隆 (52) <平成29年4月> クローバル環境科学特論 動物管理學特論 動物科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	立澤 文見 (49) <平成29年4月> 先端生命科学特論 花卉園芸学特論 蔬菜園芸学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	畠山 勝徳 (47) <平成29年4月> 研究者倫理特論 植物分子遺伝学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	ラマン アビドゥール (46) <平成29年4月> 植物分子生物学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	伊藤 芳明 (49) <平成29年4月> 先端生命科学特論 分子栄養学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	斎藤 靖史 (53) <平成29年4月> 染色体・ゲノム生物学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	鈴木 雄二 (43) <平成29年4月> 植物栄養生理学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	立石 貴浩 (55) <平成29年4月> 次世代農学特論 環境土壌学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	塚本 知玄 (60) <平成29年4月> 食品科学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	宮崎 雅雄 (42) <平成29年4月> 先端生命科学特論 分子生体機能学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	山田 美和 (35) <平成29年4月> 先端生命科学特論 産業微生物学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	小田 伸一 (59) <平成29年4月> 動物栄養生理学特論 動物科学特別研究
専	准教授	西向 めぐみ (45) <平成29年4月> 動物生理学特論 動物科学特別研究
専	准教授	出口 薫隆 (52) <平成29年4月> クローバル環境科学特論 動物管理學特論 動物科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	立澤 文見 (50) <平成29年4月> 先端生命科学特論 花卉園芸学特論 蔬菜園芸学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	畠山 勝徳 (48) <平成29年4月> 研究者倫理特論 植物分子遺伝学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	ラマン アビドゥール (47) <平成29年4月> 植物分子生物学特論 植物生命科学特別研究
専	准教授	伊藤 芳明 (50) <平成29年4月> 先端生命科学特論 分子栄養学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	斎藤 靖史 (54) <平成29年4月> 染色体・ゲノム生物学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	鈴木 雄二 (44) <平成29年4月> 植物栄養生理学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	立石 貴浩 (56) <平成29年4月> 次世代農学特論 環境土壌学特論 応用生物化学特別研究
専	教授	塚本 知玄 (61) <平成29年4月> 食品科学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	宮崎 雅雄 (43) <平成29年4月> 先端生命科学特論 分子生体機能学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	山田 美和 (36) <平成29年4月> 先端生命科学特論 産業微生物学特論 応用生物化学特別研究
専	准教授	小田 伸一 (60) <平成29年4月> 動物栄養生理学特論 動物科学特別研究
専	准教授	西向 めぐみ (46) <平成29年4月> 動物生理学特論 動物科学特別研究
専	准教授	出口 薫隆 (53) <平成29年4月> クローバル環境科学特論 動物管理學特論 動物科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	松原 和衛 (60) <平成29年4月> 動物遺伝育種学特論 動物科学特別研究
専	准教授	村元 隆行 (49) <平成29年4月> 動物資源利用学特論 動物科学特別研究
専	講師	安 豊 (56) <平成29年4月> 昆虫生理学特論 植物生命科学特別研究
専	助教	渡邊 学 (41) <平成29年4月> 寒冷地果樹特論 植物生命科学特別研究
専	助教	平田 統一 (54) <平成29年4月> 動物科学特別研究
兼任	教授	佐藤 和憲 (62) <平成29年4月> 地域創生特論 次世代農学特論
兼任	教授	比屋根 哲 (59) <平成29年4月> 地域創生特論 研究者倫理特論
兼任	教授	廣田 純一 (62) <平成29年4月> 地域創生特論 地域防災特論
兼任	教授	廣瀬 宏一 (63) <平成29年4月> 地域創生特論
兼任	教授	南 正昭 (52) <平成29年4月> 地域創生特論 地域防災特論
兼任	教授	横山 英信 (54) <平成29年4月> 地域創生特論 多文化共生特論
兼任	教授	五味 壮平 (49) <平成29年4月> 地域創生特論 地域インターンシップB 防災・まちづくり特論 ソーシャルデザイン特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	松原 和衛 (60) <平成29年4月> 研究デザイン演習 研究プレゼンテー ション演習 動物遺伝育種学特論 動物科学特別研究
専	准教授	村元 隆行 (49) <平成29年4月> 動物資源利用学特論 動物科学特別研究
専	講師	安 豊 (56) <平成29年4月> 昆虫生理学特論 植物生命科学特別研究
専	助教	渡邊 学 (41) <平成29年4月> 寒冷地果樹特論 植物生命科学特別研究
専	助教	平田 統一 (54) <平成29年4月> 動物科学特別研究
専	教授	由比 進 (58) <平成29年4月> 農業技術学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	村上 賢二 (55) <平成29年4月> 動物科学特別研究
専	助教	川原田 泰之 (37) <平成29年4月> 植物生命科学特別研究
兼任	教授	佐藤 和憲 (62) <平成29年4月> 地域創生特論 次世代農学特論
兼任	教授	比屋根 哲 (59) <平成29年4月> 地域創生特論 研究者倫理特論
兼任	教授	廣田 純一 (62) <平成29年4月> 地域創生特論 地域防災特論
兼任	教授	廣瀬 宏一 (63) <平成29年4月> 地域創生特論
兼任	教授	南 正昭 (52) <平成29年4月> 地域創生特論 地域防災特論
兼任	教授	横山 英信 (54) <平成29年4月> 地域創生特論 多文化共生特論
兼任	教授	五味 壮平 (49) <平成29年4月> 地域創生特論 地域インターンシップB 防災・まちづくり特論 ソーシャルデザイン特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	松原 和衛 (61) <平成29年4月> 研究デザイン演習 研究プレゼンテー ション演習 動物遺伝育種学特論 動物科学特別研究
専	准教授	村元 隆行 (50) <平成29年4月> 動物資源利用学特論 動物科学特別研究
専	講師	安 豊 (57) <平成29年4月> 昆虫生理学特論 植物生命科学特別研究
専	助教	渡邊 学 (42) <平成29年4月> 寒冷地果樹特論 植物生命科学特別研究
専	助教	平田 統一 (55) <平成29年4月> 動物科学特別研究
専	教授	由比 進 (59) <平成29年4月> 農業技術学特論 植物生命科学特別研究
専	教授	村上 賢二 (56) <平成29年4月> 動物科学特別研究
専	助教	川原田 泰之 (38) <平成29年4月> 植物生命科学特別研究
専	助教	松波 麻耶 (35) <平成29年11月> 植物生命科学特別研究
兼任	教授	佐藤 和憲 (63) <平成29年4月> 地域創生特論 次世代農学特論
兼任	教授	比屋根 哲 (60) <平成29年4月> 地域創生特論 研究者倫理特論
兼任	教授	廣田 純一 (63) <平成29年4月> 地域創生特論 地域防災特論
兼任	教授	廣瀬 宏一 (64) <平成29年4月> 地域創生特論
兼任	教授	南 正昭 (53) <平成29年4月> 地域創生特論 地域防災特論
兼任	教授	横山 英信 (55) <平成29年4月> 地域創生特論 多文化共生特論
兼任	教授	五味 壮平 (50) <平成29年4月> 地域創生特論 地域インターンシップB 防災・まちづくり特論 ソーシャルデザイン特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	越谷 信 (58) <平成29年4月> 地域防災特論 グローバルエネルギー特論
兼任	教授	井良沢 道也 (60) <平成29年4月> 地域防災特論 グローバル環境科学特論
兼任	教授	松岡 勝実 (54) <平成29年4月> 地域防災特論
兼任	教授	麥倉 哲 (61) <平成29年4月> 地域防災特論
兼任	教授	山崎 友子 (64) <平成29年4月> 地域防災特論 災害教育文化特論
兼任	講師	山崎 友子 (65) <平成30年4月> 地域防災特論 災害教育文化特論
兼任	教授	齋藤 博次 (62) <平成29年4月> 地域文化特論 多文化共生特論
兼任	教授	樋口 知志 (57) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	菅野 文夫 (61) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	大野 真男 (62) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	家井 美千子 (60) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	山本 昭彦 (60) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	木村 直弘 (55) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	高橋 宏一 (62) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	西館 数芽 (52) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	教授	鎌田 康寛 (47) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	教授	西山 清 (59) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	教授	小林 宏一郎 (48) <平成29年4月> システム創成特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	越谷 信 (58) <平成29年4月> 地域防災特論 グローバルエネルギー特論
兼任	教授	井良沢 道也 (60) <平成29年4月> 地域防災特論 グローバル環境科学特論
兼任	教授	松岡 勝実 (54) <平成29年4月> 地域防災特論
兼任	教授	麥倉 哲 (61) <平成29年4月> 地域防災特論
兼任	教授	山崎 友子 (64) <平成29年4月> 地域防災特論 災害教育文化特論
兼任	教授	齋藤 博次 (63) <平成29年4月> 地域文化特論 多文化共生特論
兼任	教授	樋口 知志 (57) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	菅野 文夫 (61) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	大野 真男 (63) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	家井 美千子 (60) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	山本 昭彦 (61) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	木村 直弘 (55) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	高橋 宏一 (62) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	西館 数芽 (52) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	教授	鎌田 康寛 (47) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	教授	西山 清 (60) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	教授	小林 宏一郎 (49) <平成29年4月> システム創成特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	越谷 信 (59) <平成29年4月> 地域防災特論 グローバルエネルギー特論
兼任	教授	井良沢 道也 (61) <平成29年4月> 地域防災特論 グローバル環境科学特論
兼任	教授	松岡 勝実 (55) <平成29年4月> 地域防災特論
兼任	教授	麥倉 哲 (62) <平成29年4月> 地域防災特論
兼任	講師	山崎 友子 (65) <平成30年4月> 地域防災特論 災害教育文化特論
兼任	教授	齋藤 博次 (64) <平成29年4月> 地域文化特論 多文化共生特論
兼任	教授	樋口 知志 (58) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	菅野 文夫 (62) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	大野 真男 (64) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	家井 美千子 (61) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	山本 昭彦 (62) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	木村 直弘 (56) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	高橋 宏一 (63) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	教授	西館 数芽 (53) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	教授	鎌田 康寛 (48) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	教授	西山 清 (61) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	教授	小林 宏一郎 (50) <平成29年4月> システム創成特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	本間 尚樹 (43) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	教授	武田 純一 (62) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	教授	富田 浩史 (50) <平成29年4月> 先端生命科学特論
兼任	教授	宇佐美 公生 (60) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	教授	高木 浩一 (53) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	教授	向川 政治 (46) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	教授	竹口 竜弥 (53) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	教授	笹尾 俊明 (43) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	教授	竹原 明秀 (58) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	教授	開野 登 (58) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	教授	中澤 廣 (64) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	講師	中澤 廣 (65) <平成30年4月> グローバル環境科学特論
兼任	教授	白井 誠之 (52) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	教授	松岡 洋子 (56) <平成29年4月> アカデミック日本語
兼任	教授	開 龍美 (62) <平成29年4月> 研究者倫理特論
兼任	教授	対馬 正秋 (54) <平成29年4月> 研究者倫理特論
兼任	教授	吉田 等明 (62) <平成29年4月> 研究者倫理特論
兼任	教授	脇野 博 (60) <平成29年4月> 研究者倫理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	本間 尚樹 (43) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	教授	武田 純一 (62) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	教授	富田 浩史 (50) <平成29年4月> 先端生命科学特論
兼任	教授	宇佐美 公生 (60) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	教授	高木 浩一 (53) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	教授	向川 政治 (46) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	教授	竹口 竜弥 (53) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	教授	笹尾 俊明 (43) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	教授	竹原 明秀 (58) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	教授	開野 登 (58) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	教授	中澤 廣 (64) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	講師	中澤 廣 (65) <平成30年4月> グローバル環境科学特論
兼任	教授	白井 誠之 (52) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	教授	松岡 洋子 (57) <平成29年4月> アカデミック日本語
兼任	教授	開 龍美 (62) <平成29年4月> 研究者倫理特論
兼任	教授	対馬 正秋 (54) <平成29年4月> 研究者倫理特論
兼任	教授	吉田 等明 (62) <平成29年4月> 研究者倫理特論
兼任	教授	脇野 博 (60) <平成29年4月> 研究者倫理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	本間 尚樹 (44) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	教授	武田 純一 (63) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	教授	富田 浩史 (51) <平成29年4月> 先端生命科学特論
兼任	教授	宇佐美 公生 (61) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	教授	高木 浩一 (54) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	教授	向川 政治 (47) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	教授	竹口 竜弥 (54) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	教授	笹尾 俊明 (44) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	教授	竹原 明秀 (59) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	教授	開野 登 (59) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	講師	中澤 廣 (65) <平成30年4月> グローバル環境科学特論
兼任	教授	白井 誠之 (53) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	教授	松岡 洋子 (58) <平成29年4月> アカデミック日本語
兼任	教授	開 龍美 (63) <平成29年4月> 研究者倫理特論
兼任	教授	対馬 正秋 (55) <平成29年4月> 研究者倫理特論
兼任	教授	吉田 等明 (63) <平成29年4月> 研究者倫理特論
兼任	教授	脇野 博 (61) <平成29年4月> 研究者倫理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	吉澤 正人 (64) <平成29年4月> 研究者倫理特論
兼任	講師	吉澤 正人 (65) <平成30年4月> 研究者倫理特論
兼任	教授	菅原 悦子 (63) <平成29年4月> 調理加工学特論
兼任	准教授	伊藤 幸男 (46) <平成29年4月> 地域創生特論 グローバルエネルギー特論
兼任	准教授	石村 学志 (45) <平成29年4月> 地域創生特論
兼任	准教授	山本 清麗 (44) <平成29年4月> 地域創生特論 グローバル環境科学特論
兼任	准教授	山本 信次 (48) <平成29年4月> 地域創生特論
兼任	准教授	三宅 諭 (45) <平成29年4月> 地域防災特論
兼任	准教授	橋本 学 (55) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	准教授	小島(川端)聡子 (48) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	准教授	伊藤 歩 (45) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	芝崎 祐二 (45) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	中西 良樹 (44) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	瓜生 誠司 (47) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	土岐 規仁 (45) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	永田 仁史 (55) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	准教授	佐藤 淳 (45) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	准教授	中谷 直司 (46) <平成29年4月> システム創成特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	吉澤 正人 (64) <平成29年4月> 研究者倫理特論
兼任	教授	菅原 悦子 (63) <平成29年4月> 調理加工学特論
兼任	准教授	伊藤 幸男 (46) <平成29年4月> 地域創生特論 グローバルエネルギー特論
兼任	准教授	石村 学志 (45) <平成29年4月> 地域創生特論
兼任	准教授	山本 清麗 (44) <平成29年4月> 地域創生特論 グローバル環境科学特論
兼任	准教授	山本 信次 (48) <平成29年4月> 地域創生特論
兼任	准教授	三宅 諭 (45) <平成29年4月> 地域防災特論
兼任	准教授	橋本 学 (55) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	准教授	小島(川端)聡子 (48) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	准教授	伊藤 歩 (45) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	芝崎 祐二 (46) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	中西 良樹 (44) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	瓜生 誠司 (47) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	土岐 規仁 (45) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	永田 仁史 (55) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	准教授	佐藤 淳 (45) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	准教授	中谷 直司 (46) <平成29年4月> システム創成特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	吉澤 正人 (65) <平成29年4月> 研究者倫理特論
兼任	教授	菅原 悦子 (64) <平成29年4月> 調理加工学特論
兼任	准教授	伊藤 幸男 (47) <平成29年4月> 地域創生特論 グローバルエネルギー特論
兼任	准教授	石村 学志 (46) <平成29年4月> 地域創生特論
兼任	准教授	山本 信次 (49) <平成29年4月> 地域創生特論
兼任	准教授	三宅 諭 (46) <平成29年4月> 地域防災特論
兼任	准教授	橋本 学 (56) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	准教授	小島(川端)聡子 (49) <平成29年4月> 地域文化特論
兼任	准教授	伊藤 歩 (46) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	芝崎 祐二 (47) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	中西 良樹 (45) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	瓜生 誠司 (48) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	土岐 規仁 (46) <平成29年4月> 物質機能創成特論
兼任	准教授	永田 仁史 (56) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	准教授	佐藤 淳 (46) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	准教授	中谷 直司 (47) <平成29年4月> システム創成特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	湯川 俊浩 (49) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	准教授	梁 仁實 (45) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	海妻(内田) 径子 (48) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	小林 葉子 (46) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	GRAS Alexandre Jean (42) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	川村 和宏 (40) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	中里 まき子 (41) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	中島 清隆 (42) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論 グローバル環境科学特論
兼任	准教授	小野寺 英輝 (55) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	准教授	三井 隆弘 (46) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	准教授	後藤 友明 (50) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	准教授	尾中(高島) 夏美 (59) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)
兼任	准教授	主濱 祐二 (35) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)
兼任	准教授	江本 理恵 (46) <平成29年4月> 学修支援論 学修支援演習
兼任	助教	塚越 英晴 (33) <平成29年4月> 先端生命科学特論
兼任	講師	伊藤 博幸 (69) <平成29年4月> 物質機能創成特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	湯川 俊浩 (49) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	准教授	梁 仁實 (45) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	海妻(内田) 径子 (48) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	小林 葉子 (46) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	GRAS Alexandre Jean (42) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	川村 和宏 (40) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	中里 まき子 (41) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	中島 清隆 (42) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論 グローバル環境科学特論
兼任	准教授	小野寺 英輝 (55) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	准教授	三井 隆弘 (46) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	准教授	後藤 友明 (50) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	准教授	尾中(高島) 夏美 (59) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)
兼任	准教授	主濱 祐二 (35) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)
兼任	准教授	江本 理恵 (46) <平成29年4月> 学修支援論 学修支援演習
兼任	助教	塚越 英晴 (33) <平成29年4月> 先端生命科学特論
兼任	講師	伊藤 博幸 (69) <平成29年4月> 物質機能創成特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	湯川 俊浩 (50) <平成29年4月> システム創成特論
兼任	准教授	梁 仁實 (46) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	海妻(内田) 径子 (49) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	小林 葉子 (47) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	GRAS Alexandre Jean (43) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	川村 和宏 (41) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	中里 まき子 (42) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	准教授	中島 清隆 (43) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論 グローバル環境科学特論
兼任	准教授	小野寺 英輝 (56) <平成29年4月> グローバルエネルギー特論
兼任	准教授	三井 隆弘 (47) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	准教授	後藤 友明 (51) <平成29年4月> グローバル環境科学特論
兼任	准教授	尾中(高島) 夏美 (60) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)
兼任	准教授	江本 理恵 (47) <平成29年4月> 学修支援論 学修支援演習
兼任	助教	塚越 英晴 (34) <平成29年4月> 先端生命科学特論
兼任	講師	伊藤 博幸 (70) <平成29年4月> 物質機能創成特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	菊池 孝美 (65) <平成29年4月> 多文化共生特論	菊池 孝美 (65) <平成29年4月> 多文化共生特論	菊池 孝美 (66) <平成29年4月> 多文化共生特論
兼任	講師	Asano Robert Ken (47) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)	Asano Robert Ken (47) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)	Asano Robert Ken (48) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)
兼任	講師	Townsend Simon (46) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)	Townsend Simon (46) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)	Townsend Simon (47) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)
兼任	講師	Newbury Daniel Copeland (42) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)	Newbury Daniel Copeland (43) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)	Newbury Daniel Copeland (44) <平成29年4月> アカデミック英語(A2-LSRW) アカデミック英語(B1-LS) アカデミック英語(B1-RW) アカデミック英語(B2-LS) アカデミック英語(B2-RW)
兼任	講師	佐川 了 (66) <平成29年4月> 農業技術学特論		
兼任	講師	阿部 陽 (41) <平成29年4月> 遺伝子農学特論	阿部 陽 (41) <平成29年4月> 遺伝子農学特論	阿部 陽 (42) <平成29年4月> 遺伝子農学特論
兼任	講師	西原 昌宏 (50) <平成29年4月> 植物バイオテクノロジー 特論	西原 昌宏 (50) <平成29年4月> 植物バイオテクノロジー 特論	西原 昌宏 (51) <平成29年4月> 植物バイオテクノロジー 特論
兼任	講師	彦坂 幸毅 (49) <平成29年4月> 植物生命科学特別講義	彦坂 幸毅 (49) <平成29年4月> 植物生命科学特別講義	彦坂 幸毅 (50) <平成29年4月> 植物生命科学特別講義
兼任	講師	高木 博史 (59) <平成29年4月> 応用生物化学特別講義	高木 博史 (59) <平成29年4月> 応用生物化学特別講義	高木 博史 (60) <平成29年4月> 応用生物化学特別講義
兼任	講師	小倉 振一郎 (48) <平成29年4月> 動物科学特別講義	小倉 振一郎 (48) <平成29年4月> 動物科学特別講義	小倉 振一郎 (49) <平成29年4月> 動物科学特別講義
				兼任 講師 山本 清龍 (45) <平成29年10月> 地域圏生特論 グローバル環境科学 特論

(注) 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

- 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**変更時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育効果を上げるため、黒田榮喜教授の担当授業科目に「インターンシップ」を追加。
- ・教育効果を上げるため、小森貞男教授の担当授業科目に「研究デザイン演習」、「研究プレゼンテーション演習」を追加。
- ・教育効果を上げるため、伊藤菊一教授の担当授業科目に「研究デザイン演習」、「研究プレゼンテーション演習」を追加。
- ・教育効果を上げるため、木村賢一教授の担当授業科目に「インターンシップ」を追加。
- ・授業内容に基づく教員配置見直しのため、佐野宏明教授の担当授業科目から「研究デザイン演習」、「研究プレゼンテーション演習」を削除。
- ・加藤一幾准教授就任辞退、後任未定であるが、平成29年12月以降に専任教員採用予定で公募準備中。担当予定の「蔬菜園芸学特論」は、立澤文見准教授が担当。
- ・教育効果を上げるため、松原和衛准教授の担当授業科目に「研究デザイン演習」、「研究プレゼンテーション演習」を追加。
- ・教育効果を高めるため、平成29年4月に由比教授を新規採用。予定していた佐川兼任講師の担当を取りやめ。
- ・教育効果を高めるため、平成29年4月に村上教授を新規採用。
- ・教育効果を高めるため、平成29年4月に川原田泰之助教授を新規採用。

【平成30年度】

- ・塚本知弘准教授が教授に昇任。
- ・平成29年12月以降の採用を予定していた加藤一幾准教授の後任として、平成29年11月に松波助教新規採用。
- ・兼任教員の主演祐二准教授の転出により「アカデミック英語」の担当削除。
- ・兼任教員の山本清龍准教授が平成29年10月転出により、「兼任教員」に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「年 月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
8	3	0
名	名	名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
17	20	1	2	40	20	18	1	4	43	20	18	1	4	43
(20)	(19)	(1)	(3)	(43)						[+3]	[2]	[]	[+2]	[+3]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
40	0	0			43	0	0			43	0	0		
(43)	(0)	(0)								[+3]	[]	[]		

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: -1)

(2) - 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{43}{40} = \boxed{107.5} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{43} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由	
1	准教授	加藤 一幾	必修	植物生命科学特別研究		一身上の都合のため就任辞退(29)	
			選択	蔬菜園芸学特論			
合計(D)				後任補充状況の集計(E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		の合計数(a)	の合計数(b)	の合計数(c)	
1	人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	科目
		自由	0 科目	自由	科目	自由	科目
		計	2 科目	計	2 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「」~「」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する(している)場合は「」
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「」「」以外の場合は「」

(3) - 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 【該当なし】

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計(F)				後任補充状況の集計(G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		の合計数(a)	の合計数(b)	の合計数(c)	
	人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0 科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0 科目	自由	科目	自由	科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「」~「」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する(している)場合は「」
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「」「」以外の場合は「」

(3) - 上記(3) - (3) - の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		の合計数(a)	の合計数(b)	の合計数(c)	
1	人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	2 科目	計	2 科目	計	0 科目

(3) - 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - \text{合計(D)+(F)}}{(2) - \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{40} = \boxed{2.5} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
1	教授	橋爪 力	選択	動物生殖学特論		H30.3.31付け65歳で定年退職(30)					
合計			後任補充状況の集計								
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		の合計数(a)		の合計数(b)		の合計数(c)			
1	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	1	科目	選択	科目	選択	1	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	1	科目	計	0	科目	計	1	科目	計

- (注)・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「 」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「 」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「 」 「 」以外の場合は「 」
--

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員の就任辞退については、同分野の専任教員が代替するため支障はない。 定年により退職する教員については、学生便覧により退職1～2年前の教員であることを記載しているため支障はない。</p>
--

- (注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 【該当なし】

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (年 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年 2 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年 2 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年 2 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年 2 月)			

(注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

< 総合科学研究科 農学専攻 >

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>(全学) 教育推進機構教育推進連携部門 【規則: 別添資料1】</p> <p>(農学部) 農学部教務委員会 【規則: 別添資料2】 農学部点検評価委員会 【規則: 別添資料3】</p> <p>(総合科学研究科) 総合科学研究科教務専門委員会 【規則: 別添資料4】</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>(全学) 6回(参加教員13人ほか事務職員2人)</p> <p>(農学部) 14回(参加教員12人)</p> <p>(総合科学研究科) 7回(参加教員9人)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(全学) FD実施計画, GPA, 学年暦, 卒業生・修了生アンケートについて審議</p> <p>(農学部) 教育課程の編成, 授業科目の履修, 学籍, 教育実習, 授業アンケート, その他教務に関するものを審議</p> <p>(総合科学研究科) 研究科共通科目, 研究指導の複数指導体制, 専攻間の相互協力, その他研究科の教務に関するものを審議</p> <p>実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>(全学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学FD研修 ・ 授業公開 ・ 授業評価アンケート(前期, 後期各1回)の実施 <p>(農学部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD講演会の実施 ・ 授業評価アンケート(前期, 後期各1回)の実施及びとりまとめ ・ 授業公開 後期に農学部専門科目の授業公開を実施。合わせて教育懇談会を開催。 <p>(総合科学研究科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケート(後期1回)の実施及びとりまとめ <p>b 実施方法</p> <p>(全学) 教育推進機構から各学部事務を通じて教員へ周知の上, 実施</p> <p>(農学部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教務委員会内設置のFD委員会においてFD企画を立案し, 学部内及び他部局にも周知の上, 実施 ・ 点検評価委員会において前期, 後期に各1回授業評価アンケートを実施し, アンケート結果をとりまとめ, 各教員にフィードバックを行っている。 ・ 保護者に案内を送付し, 授業公開の実施, 合わせて学内見学, 意見交換の教育懇談会を開催 <p>(総合科学研究科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後期に授業評価アンケートを実施し, アンケート結果をとりまとめ, 各教員にフィードバックを行っている。
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（全学）全学FD研修（平成29年8月30日） 教員109名参加

（農学部）

- ・農学部FD講演会（平成29年9月19日） 教職員 32名参加
- ・授業評価アンケート
アンケート結果を科目ごとに担当教員へ返却し、授業改善に役立てるとともに、学部アンケート結果の分析を検討し、改善点のまとめを行った。
- ・授業公開
実験、実習、研修以外の講義科目について、学部1～2年次父母等を対象に、授業の公開を行った。

（総合科学研究科）

- ・授業評価アンケートの結果を科目ごとに担当教員に返却し、授業改善に役立てるとともに、アンケート結果の分析を検討し、改善点のまとめを行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

（全学）授業評価アンケート結果を踏まえ、教育推進機構教育推進連携部門において、改善事項を整理し、全学FD研修のテーマとして改善に向けた取組を実施。

（農学部）アンケート結果により、改善点の把握を行い授業改善につなげている。また、FD研修会においては、他学部の教育改革の取組事例を紹介いただき、参加者による意見交換を行い、各教員の具体的な取組につなげている。

（総合科学研究科）アンケート結果により、改善点の把握を行い授業改善につなげている。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

（全学）前期及び後期に授業アンケートを実施（教養教育）

（農学部）前期及び後期に授業アンケートを実施（専門教育（専攻科目も含む））

（総合科学研究科）後期に授業アンケートを実施

b 教員や学生への公開状況，方法等

（全学）アンケートの集計結果を授業担当教員に通知。（学生には非公開）

（農学部）アンケートの集計結果を授業担当教員に通知。（学生には非公開）

（総合科学研究科）アンケートの集計結果を授業担当教員に通知。（学生には非公開）

（注）・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成29年4月の学生入学以降、設置計画に沿ったカリキュラムが開始され、1年目は着実に履行した。2年目も引き続き設置計画を履行する予定。

自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

平成31年度 公表予定

b 公表方法

平成30年度年度計画の自己点検・評価を通じた「自己点検・評価報告書」等を大学ホームページ上に公開予定(平成31年度中)

認証評価を受ける計画

・平成31年度に評価機関の評価を受ける予定

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (有 無)

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年 7月)

(注)・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則

(平成26年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、岩手大学教育推進機構規則第18条第2項の規定に基づき、岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議(以下「部門会議」という。)に関し、必要な事項を定める。

(審議事項等)

第2条 部門会議は、次に掲げる事項を審議するとともに、必要に応じて、教育推進機構会議への提言を行う。

- 一 教育推進連携部門に係る中期目標・中期計画及び年度計画に関する事。
- 二 学生(卒業生を含む)に対する各種調査、学修成果測定等に関する企画、実施及び報告等に関する事。
- 三 各種教育プログラムの点検評価の企画、実施及び報告に関する事。
- 四 各学部における教育改善に資する情報提供及び助言等に関する事。
- 五 ファカルティ・ディベロップメントに関する研修会・講演会、ワークショップ、公開授業の企画及び開催・実施並びに評価に関する事。
- 六 カリキュラム、授業科目及び成績評価方法の調査・開発等に関する事。
- 七 教養教育と専門教育の連携に関する事。
- 八 複数学部間にまたがる専門基礎教育の連携に関する事。
- 九 その他教育改善及び専門教育の全学的な連携に関する事。

(組織)

第3条 部門会議は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 部門長
 - 二 専任教員
 - 三 兼務教員
 - 四 各学部の教務関係委員会から選出された教員 各1名
 - 五 各学部のFD又は教育評価を担当する委員会から選出された教員 各1名
 - 六 学務企画課長及び大学院・専門教育課長
 - 七 その他部門長が必要と認めた者
- 2 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門に岩手大学教育推進機構規則第12条に定める副部門長を置いた場合は、前項の部門会議の組織構成員とするものとする。

(任期)

第4条 前条第4号及び第5号の組織構成員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の任期は、前任者の残任期間とする。

(議長及び副議長)

第5条 部門会議に議長を置き、部門長をもって充てる。

- 2 議長は、部門会議を招集し、主宰する。
- 3 部門会議に副議長を置き、議長が指名する者をもって充てる。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 部門会議は、組織構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。ただし、第3条第4号及び第5号のうちから1名以上の出席がなければ、会議を開くことができない。なお、第3条第4号及び第5号の組織構成員の代理出席を認めるものとする。

- 2 部門会議の議事は、出席した組織構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(組織構成員以外の者の出席)

第7条 部門会議が必要と認めたときは、組織構成員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 部門会議の庶務は、学務企画課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、部門会議に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年10月1日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

岩手大学農学部教務委員会規則

(平成16年4月1日制定)

(設置)

第1条 岩手大学教授会通則第9条第3項の規定に基づき、教授会に岩手大学農学部教務委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、教養教育及び農学部専門教育に関し、次に掲げる事項を審議する。

- 一 教育課程の編成に関する事。
- 二 授業科目の履修に関する事。
- 三 学籍に関する事。
- 四 中期目標・中期計画の実施に関する年度計画の策定、実施に関する事。
- 五 その他教務に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 副学部長
- 二 植物生命科学科、応用生物化学科及び共同獣医学科から選出された教員 各2名
- 三 森林科学科、食料生産環境学科の各コース及び動物科学科から選出された教員 各1名

(任期)

第4条 前条第2号から第3号までの委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前項の委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、第3条第2号から第3号までの委員の互選により選任する。
- 3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、原則として全委員の出席がなければ、会議を開くことはできない。ただし、第3条第2号から第3号までの委員が委員会に出席できないときは、当該学科の教員が代理し、出席することができる。

(議決)

第7条 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(全学委員の選出)

第8条 委員会は、教育推進機構教養教育センター会議委員1名を、委員の互選により選出する。

2 委員会は、教育推進機構教育推進連携部門会議委員1名を、委員の互選により選出する。

(委員以外の者の出席)

第9条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は、学務部において処理する。

(雑則)

第11条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会において別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行後、最初に選出される第3条第2号から第4号までの委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、その半数の委員については、委員会の定めるところにより、これを1年とする。

附 則

この規則は、平成16年5月18日から施行する。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

2 この規則の施行後、最初に選出される第3条第2号から第4号までの委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、その半数の委員については、委員会の定めるところにより、これを1年とする。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年4月20日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年4月15日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

2 この規則の施行後、最初に選出される第3条第2号から第4号までの委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、その半数の委員については、委員会の定めるところにより、これを1年とする。

岩手大学農学部点検評価委員会規則

(平成23年3月4日制定)

(設置)

第1条 岩手大学教授会通則第9条の規定に基づき、教授会に岩手大学農学部点検評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議し、又は実施することを任務とする。

- 一 農学部及び農学研究科に係る中期目標原案並びに中期計画案及び業務運営に関する年度計画案の作成に関すること。
- 二 農学部及び農学研究科の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、自ら行う点検及び評価(自己点検評価)の実施に関すること。
- 三 自己点検評価の結果について、岩手大学の職員以外の者による検証の実施に関すること。
- 四 認証評価機関が行う大学の教育研究活動等の評価の対応に関すること。
- 五 第2号から第4号までの評価の結果により、改善が必要と認められる事項の具体的方策に関すること。
- 六 授業アンケート等の実施に関すること。
- 七 入学者受入方針に沿った学生受入れの検証に関すること。
- 八 その他農学部及び農学研究科に係る評価に関し必要な事項。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 岩手大学点検評価委員会委員として選出された評議員 1名
- 二 各学科から選出された教員 各1名
- 三 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター、附属動物病院、附属寒冷バイオフロンティア研究センター及び附属動物医学食品安全教育研究センターから選出された教員 1名
- 四 その他学部長が必要と認めた者

(任期)

第4条 前条第2号及び第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、第3条第1号の委員とする。
- 3 副委員長は、第3条第2号又は第3号の委員から委員長が指名した者をもって充てる。
- 4 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会は、全委員の出席がなければ、会議を開くことができない。ただし、当該学科又は当該附属施設等の教員が代理し、出席することができる。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数の賛成をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、意見を聴くことができる。

(作業部会)

第8条 本委員会に、第2条の任務を実施するため、作業部会を置く。

一 点検評価作業部会

二 授業アンケート等作業部会

2 前項の作業部会の他、必要に応じて作業部会を置くことができる。

3 作業部会に関し必要な事項は、委員会が定める。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、事務部において処理する。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

2 この規則の施行後、最初に選出される第3条第2号に掲げる委員のうち、農学生命課程、応用生物化学課程及び共生環境課程から選出される委員の任期は、第4条の規定にかかわらず平成24年3月31日をもって満了とする。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

2 この規則の施行後、最初に選出される第3条第2号及び第3号の委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、その半数の委員については、委員会の定めるところにより、これを1年とする。

岩手大学大学院総合科学研究科教務専門委員会規則

(平成29年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、岩手大学大学院総合科学研究科運営委員会規則第8条第1項に定める総合科学研究科教務専門委員会（以下「教務専門委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 教務専門委員会は、総合科学研究科（以下、「研究科」という。）運営委員会が審議する研究科の教育課程に関する基本方針を踏まえて、研究科の教務（各専攻の専攻内の教務に関する事項を除く。次条において同じ。）に関する事項を審議することを目的とする。

(審議事項)

第3条 教務専門委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- 一 研究科の研究科共通科目に関すること。
- 二 研究科の研究指導の複数指導体制に関すること。
- 三 研究科内の教育に関して、専攻間の相互協力に関すること。
- 四 その他、研究科の教務に関する事項

(組織)

第4条 教務専門委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 副研究科長
- 二 副専攻長
- 三 各専攻が選出する委員 各1名

(任期)

第5条 前条第3号委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

- 2 前項の委員に欠員が生じたときの補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第6条 教務専門委員会に委員長を置き、第4条第1号委員をもって充てる。

- 2 委員長は、教務専門委員会を招集し、議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、第4条第2号委員のうちからあらかじめ委員長が指名する者が、その職務を代理する。

(会議)

第7条 教務専門委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

- 2 教務専門委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところとする。

(委員以外の者の出席)

第8条 教務専門委員会が必要と認めたときは、委員以外の者を教務専門委員会に出席させ、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第9条 教務専門委員会の庶務は、大学院・専門教育課において処理する。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、教務専門委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。